



2023(R5)年度

認定特定非営利活動法人コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1.運営に関わる事業

=その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

【事業費：1,127,767円】

「子ども、人が育ち合うゆたらかなひゅーるぼん」をめざして。そう掲げ、子どもたちやぽんぽんの仲間たちとの活動、地域・社会づくりを行なってきました。5月には長らく休止していた地域食堂「みんなおいでや～」を再開しました。調理、運営、食材のご寄付など、たくさんの保護者ボランティア、地域の方々に支えていただき続けることができました。その他にもぽんぽんの屋根修繕作業、運動会、夕暮れコンサートなど、様々な活動を支えてくださり、日常の中に確かな「つながり」を感じることができました。

運営面では昨年度より3年をかけて、業務や会議等の見直し、スリム化に取り組んでいます。今年度は業務セクションを改編し、運営・財務に関する検討をマネジメント会議として実施しました。また経験年数の違うスタッフがペアになって業務にあたり、仕事をシェアしながら取り組めるような形を試行しました。さまざまな業務について経験をする機会となった一方で、一部のスタッフに業務が偏りがちになるなど課題点も見えてきたため、引き続き管理、分担の仕方について工夫していきたいと思えます。

各種運営会議

1 運営に関する会議

通常総会 6月に開催

顧問監事会 7月・2月に開催

理事会 5月・6月・9月・12月・3月に開催

こども発達支援センター運営委員会 7月・2月に開催

保健委員会(保健・感染対策に関すること、BCP立案) 定例委員会 概ね月1回

人権委員会(虐待・身体拘束に関わる研修など)

運営委員会 月1回(6月・3月は隔週土曜に振り分けて開催)

(新)マネジメント会議 月2回(運営・財務に関わる検討)

業務セクション会議 月1回

所長会議 議題に応じて実施

プログラム検討委員会 年度後半に実施し総括と来年度計画立案

2 プログラム実施に関する会議

コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議 各拠点ごとに概ね週1回

まちづくり・ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議 月2回

活動支援プログラム

| | | | |
|---|---------------|------------|------|
| 1 | Hull Fan | 670,000円 | 152口 |
| 2 | 寄付金 | 1,384,822円 | |
| 3 | その他助成金等 | | |
| | AEON イエローレシート | 22,100円 | |
| | 生協ひろしま | 21,000円 | |
| | 尾崎基金 | 47,000円 | |

広報プログラム

- 1 WEBによる情報発信
- 2 広報紙「うるとらのほし」年2回発行（6月・12月）

研修

- 1 新人スタッフ研修

| | |
|--------------|---|
| 採用前研修 | 2～3月に2日間実施 就職前に実習を実施することで、就職への不安の軽減と意欲の向上を図る目的で実施しました。 |
| 業務上必要なことについて | 4月～5月に実施（全9回） |
| 新人面談 | 毎月1回実施 新人担当を設け、悩みの解決や業務遂行のためのアドバイスを行いました。 |
| フレッシュミーティング | 毎月1回実施 年齢の近いスタッフが加わり新人スタッフの横のつながりづくりを行うことで風通しの良い職場環境づくりに努めました。 |

2 スタッフ研修

| | |
|---|-----------------|
| 虐待防止・身体拘束禁止に関わる研修(義務) | 4/1 全スタッフ対象 |
| 行方不明捜索訓練研修 | 4/8 |
| 不審者対応訓練研修 | 9/9 安佐南警察署職員を招聘 |
| 社会力 社会力についてグループワークの実施 | 毎月1回 |
| みにみに勉強会 (新人スタッフを中心に自由参加) 業務で気になることなどを出し合い学ぶ、30分 程度の勉強会 | 研修報告を中心に1回実施 |

3 他団体主催の研修等への参加

コロナ禍で広がったオンライン研修の形態が多く、参加しやすい状況が続きました。今年度は20件近い研修にスタッフが参加しました。

「社会福祉夏季大学」「発達障害支援者研修」「不登校研修」「訪問子育て研修」
「福祉施設ブランディング研修」「栄養士会生涯教育研修」「ゲーム依存症予防教育研修」
「精神科救急関係者研修」など 19件

2.コミュニティスペースプログラム

ひゅーるぼんではコロナ禍が開け、さまざまな行事が開催できるようになり、より一層交流を深める機会を作ることに取り組みました。

ひよこ組では、これまで制限していた調理活動や食後の歯磨き、ひよこ組全体での行事を再開するなど、活動の充実を図りながら、毎日の生活を丁寧に積み重ねる中で子どもたちが力を身につけていけるように取り組みました。保護者に対しても、入館によるお迎えの再開、親子行事など活動参加の機会の増加、集合型の交流会や勉強会の開催等、活動を見たり参加したりしていただける機会や、話や交流をする場を多く作ることができました。保護者同士や、保護者とスタッフとの日常的な交流を深めたり、子どもたちへの関わりポイントを具体的に伝えたりすることを大切にしながら、家庭と連携して子どもたちの成長を応援することに努めました。

きっず組では、子どもたちの思いを大切にやりたいことを膨らませながら活動をしてきました。昨年度から取り組んでいるわくわくきっずでは、地域の子どもたちとの継続した交流の機会を作ることで、子どもたちが自然に交わり遊びを通して徐々に交流を深めています。夏休みなど長期休暇の期間には、地域の子どもたちや通所児のきょうだいの受け入れも試行し、様々な子どもたちの居場所、子どもたちが人との関わりの中で育ち合える場を目指して活動しました。

相談事業では、子育てで気になることを気軽に相談できる場として、小児科、保健センター、子育てサークルなどからの紹介が増えてきました。また電話・来所だけでなくメール相談も多くなっています。

ぽんぽんは、1年を通して家族の方と情報交換会・勉強会を実施してきました。コロナ禍で顔を合わせる機会の減っていた昨年度、「他の皆さんはどう考えていらっしゃるのだろうか」というご家族のつぶやきに端を発した会ですが、予想以上に参加して下さるご家族が多く、日々のこと、親亡き後のことなど、社会福祉士を交えてさまざまなお話をしてきました。今後も続けていきながら、より良い将来の生活について一緒に考えていきたいと思えます。また、作品展示の依頼や製品の販売の機会など外での活動が増えました。一方で、製品等の売り上げは伸びず苦戦をしています。より良い製品の開発はもとより、販売の方法について、視野を広げていかななくてはならないと感じました。



2-1 こども発達支援センター =こどもたちの育ちの支援に関わる事業

| | | |
|------|---|------------------------|
| 事業名 | 児童発達支援事業 ひよこ組 =児童福祉法に規定する障害児通所支援事業 | 事業費 47,159,909円 |
| 事業目的 | 2歳から就学前までの発達に支援の必要な子どもたちを対象とし、児童発達支援ガイドラインに基づき、生活や遊びの支援を行うことを通して、基本的な生活習慣の獲得や自立、人・集団に対しての愛着心を育むこと、毎日をいきいきと過ごしていくための支援を行います。 | |
| 実施場所 | こども発達支援センター | |
| 利用状況 | 登録者数 28名 年間通所者 のべ 5023名 ボランティア のべ 12名 ※2024(R6)年3月31日時点 | 年間活動日数 241日 |
| 実施内容 | <p>ひゅーるぽん独自の「安心感を基盤とした交流感・有能感・自己決定感の醸成」を基盤として、児童発達支援ガイドラインに基づく支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節や文化を大切にしたい行事等を実施しました。 はじまりの会、こいのぼり製作、水遊び、七夕製作、親子行事、年長児お楽しみプログラム、歯科検診、内科健診、ひゅーるぽん大運動会、親子遠足、さつまいも掘り、さつまいもクッキング、お餅つき、冬のお楽しみ会、初詣、節分の集い、ひなまつり製作、すだちの会など ※毎月1回、身体測定の実施。 ○ 個別支援計画提示懇談・中間懇談・まとめ個別懇談、および必要に応じて個人懇談を実施しました。 ○ 保護者向けプログラムを実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会 「ひよこ組の生活-幼児期に大切にしたいこと-」「食育研修」「ひよこ組での集団生活と保健について」「保護者向けクッキング」「こどものお薬勉強会」「就学を考える-小学校入学に向けて-」 ※公開研修 「給食試食会-管理栄養士による食育研修-」 ※クラスごとの開催 「先輩保護者の話を聞く会」 ※法人全体 ・親子行事 「パパ・ママと遊ぼう」「動物園親子遠足」「冬のお楽しみ会」 ・クラス懇談、ひよこ組保護者交流会 <ul style="list-style-type: none"> ○ 月1回「ひよこだより」を発行し、日々の活動の様子等を写真も活用して報告しました。 ○ 保護者の方に参加いただく活動場面やプログラムを多く取り入れました。子どもたちの活動の様子や日常の取り組みを直接知っていただく機会とするとともに、保護者の方同士の交流や繋がりを深める機会としました。 | |

| | | |
|------|--|----------------------------|
| 事業名 | 放課後等デイサービス事業（きつ組） ＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業 | 事業費 17,736,102円 |
| 事業目的 | 障がいのある子どもや不登校の子どもたちに対して、子どもの思いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。 | |
| 実施場所 | こども発達支援センター | |
| 利用状況 | 放課後デイサービス利用登録者数 37名 その他利用人数 4名 年間通所者 のべ 3,175名 ボランティア のべ 24名 | 年間活動日数 241日 |
| 実施内容 | <p>○ 放課後等デイサービス事業（きつ組） 6歳～18歳までの不登校及び障がいのある子どもたちを対象として、育ちの支援を行いました。 水曜日を除く、月～金曜日…13:00～17:45 土曜日…9:15～15:30 夏休みなどの長期休暇中の平日…10:00～16:00 ※このプログラムの一部は児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業として実施</p> <p>○ 平日の10:00～13:00は自主事業のオープンスペースとして実施</p> <p>○ 季節プログラムや子どもたちの生活経験を豊かにするプログラムを実施 2023年 6月…映画鑑賞会、保護者交流会 7月…ゲーム大会、みんなの家交流会 8月…キャンプ、水遊び、スイカ割り、工作教室 9月…アート・ルネッサンス鑑賞 10月…運動会、綿菓子パーティー、ハロウィンパーティー 11月…夕暮れコンサート、電車遠足、クッキーづくり 12月…たこ焼きクッキング、クリスマス工作、クリスマス会 2024年 1月…書き初め大会、凧揚げ 2月…バレンタインクッキング 3月…旅行、お別れ会</p> <p>○ 個別支援計画提示・中間・期末の個別懇談、必要に応じて随時個別懇談を実施</p> <p>○ 毎週木曜日に園庭を開放した地域交流プログラム、わくわくきつ組を実施(夏休みは週3回)</p> <p>○ 長期休み期間はきょうだい児の受け入れを実施</p> | |



| | | | |
|------|---|-----|------------|
| 事業名 | 保育所等訪問支援事業 ＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業 | 事業費 | 4,797,514円 |
| 事業目的 | 保育所等において、発達に支援が必要な子どもが集団生活に適応できるよう継続的に専門的支援を行います。 | | |
| 実施日時 | 通年 | | |
| 実施場所 | 契約児童の通う保育園等 | | |
| 参加者 | 契約児童7名 | | |
| 実施内容 | 契約児童7名に対して67件の支援を実施しました。 | | |

| | | | |
|------|---|-----|------------|
| 事業名 | 障害児相談支援事業 ＝児童福祉法に規定する障害児地域支援事業 障害児指定特定相談支援事業 ＝障害者総合支援法に規定する事業 | 事業費 | 4,156,399円 |
| 事業目的 | 地域の発達に支援が必要な子どもが、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、相談支援を行います。 | | |
| 実施場所 | ひゅーるぽん、各家庭、学校等 | | |
| 利用状況 | 契約者数 57名 ※2024 (R6)年3月31日時点 | | |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害児支援利用計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児支援利用計画の作成 (57件) ・ モニタリング (85件) ○ 障害者自立支援協議会安佐南地域部会 区福祉課、社会福祉協議会と区内の相談支援事業者や、子育てにかかわる機関、当事者で構成される隔月の部会に参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談部会への参加 4回 | | |

| | | |
|------|---|-----------------|
| 事業名 | 広島市障害児療育等支援事業（初期支援事業） ＝障害者総合支援法に規定する事業 | 事業費 2,942,285 円 |
| 事業目的 | 子どもの育ちについて「気になる」ことを早期に相談することで、ご家族が前向きに子育てにむかえる支援をおこないます。 | |
| 実施日時 | 通年 | |
| 実施場所 | ひゅーるぽん | |
| 参加者 | 実施内容参照 | |
| 実施内容 | <p>(1)子育てサロンを毎週火曜日に実施 50回開催 のべ149人参加 夏は水遊びを学生ボランティアさんと一緒に6回楽しみました。 ひゅーるぽんの近隣に住む親子の参加が増えました。 地域で活動されている「シアターサマンサ」さんの人形劇 ボランティアグループ「ままぼっけ」と防災について考える会を実施</p> <p>(2)個別相談を 54件実施</p> <p>(3)0～2歳児を対象とした集団支援「びよびよくらぶ」を5回実施 ひよこぐみの待機教室として1月より実施しました。</p> <p>(4)緊急的な要支援家庭への家庭訪問フォロー 2件実施 電話相談の入った当日または翌日には家庭訪問を実施しました。</p> <p>(5)NPO法人e-子育てセンターの「ひろばKUSUKUSU祇園・佐東」への出張発達 相談を12回実施 ここで対応した親子のうち何名かは発達相談や子育てサロンの方で引き続いて 支援を行っています。</p> <p>(6)幼稚園や保育園への施設支援を 11件実施 以上の支援のうち33%は自主事業として展開しています。</p> | |

| | | | | |
|------|---|-------|-----|----|
| 事業名 | こども発達支援センター自主事業 | =自主事業 | 事業費 | 0円 |
| 事業目的 | こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域の中核的な発達支援施設としての役割を果たします。 | | | |
| 実施日時 | 通年 | | | |
| 実施場所 | ひゅーるぽん ほか | | | |
| 参加者 | 実施内容参照 | | | |
| 実施内容 | <p>(1) 児童発達支援ひよこぐみ療育終了後の家族支援事業『ゆうやけひよこ ちっち』のべ313名の利用があり、昨年度より利用ニーズの高まりを感じています。</p> <p>(2) 児童発達支援ひよこぐみ退園後のアフターフォロー事業 「こっこくらぶ」…幼・保育園に通う保護者対象 「こけこっこくらぶ」…就学後の保護者対象 どちらの事業もスタッフ体制の難しさから開催ができませんでした。</p> <p>(3) 安佐南区自立支援協議会 各部会への参加 子ども部会 5回 相談部会 6回 事業所連絡会 3回</p> <p>(4) 公開研修の実施 「就学を考える会」 7月7日実施 22名参加 講師 広島市教育委員会特別支援教育課 高橋 望先生 「災害について考える」 2月6日（子育てサロン）実施 8名参加 講師 ボランティアグループMaMaぽっけのみなさま</p> | | | |



2-2 就労継続支援B型 コミュニティほっとスペースぽんぽん

| | | | | |
|------|---|----------|--------|--------------|
| 事業名 | コミュニティほっとスペースぽんぽん (就労継続支援B型事業所) =障がいのある人等をはじめとする成人の地域生活ならびに社会参画支援に関わる事業 | | 事業費 | 15,018,290 円 |
| 事業目的 | 18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援します。 | | | |
| 実施場所 | コミュニティほっとスペース ぽんぽん | | | |
| 登録者数 | 14名 | 活動日数 | 241日 | |
| 利用人数 | 通所者のべ 3,101名 ※2024(R6)年3月31日時点 | 参加ボランティア | のべ 1 名 | |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 働くことの支援 下請け作業（木工製品のやすりがけ、和菓子ラッピング、発送作業）、オリジナルアート製品づくり・販売、アートレンタル、イベントへの出張販売。 ○ 表現活動の支援 アート制作の支援。アートを通じた社会参加支援。演劇活動参加の支援。音楽療法士による音楽プログラムの実施。 ○ 本人主体の活動 レクリエーションの企画（広島ゲートパークへの外出、愛媛県へ1泊旅行、お楽しみ会、クッキング、忘年会、きつ組とのクリスマス会など） 行事の企画（夏祭りでの出店など）。 ○ 外部とのつながり 委託販売先を通じた製品購入者との交流。作品のレンタル事業への協力。 人権擁護センター「ほっとさん」の相談の実施（年6回）。 地域行事(夏祭り)の際にカフェを実施。 ○ 家族支援 家族の皆さんとの情報交換会の実施（6月、8月、11月、3月）、食事と栄養に関する勉強会の実施（1月） ○ その他 屋根修繕工事の実施（保護者・家族の皆さんとの協働作業に参加） 作品展示（アート・ルネサンスでの特別展示、はつかいち美術ギャラリー・ギャラリーブラックでの共同展示、演劇公演会場での展示、winwinマルシェでの作品展示） デザイン提供（EARE Hiroshima、など） 出張販売の実施(インターナショナルスクールの学園祭、ダイハツ西風新都店でのイベント、ハウスメーカーのイベント、winwinマルシェ、安佐南区ウォーキングフェスタ) アートカタログの制作（年2回） 広島市内のカフェに常設展示。 製品開発（外部アーティストとの共同）、委託販売先の拡大 | | | |

3.まちづくり・コミュニティボランティア育成プログラム

3-1 アートによるまちづくり =まちづくりに関わる事業

今年度も障がいのある人のありのままの表現を大切にすること、またその表現に寄り添い、創作活動を共にするアートサポーターがつながり高まり合うことができるよう、人、福祉施設・事業所、関係機関との連携を大切にしながら活動を行いました。

広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2023は、21年間の取り組みを総括し、新たな内容で開催しました。部門を、個人で制作した作品の「自由制作部門」、身近な方やアートサポーターなどと共に制作した作品の「共同制作部門」の2部門とし、サイズの規定の幅を広げ、より多種多様な作品を受け入れ、展示しました。それに加え、特別展示で創作現場の空気感やサポーターとのやりとりの過程なども身近に感じられるようアートが生まれる現場を再現し、日常の中にあるアートの存在を感じ、彼らのアートの魅力や無限に広がる可能性を感じていただけるようにしました。

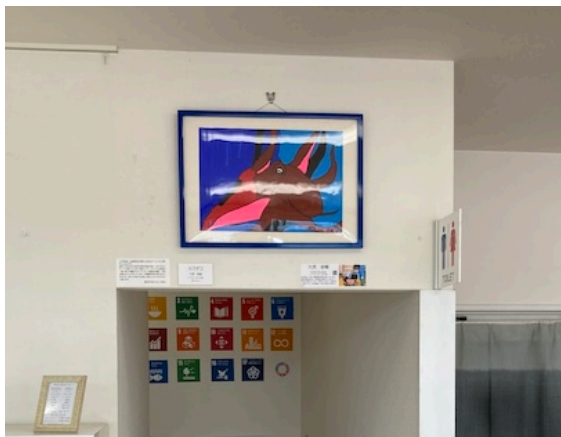
幸せプロダクツの活動では、ご当地フォントプロジェクトのフォントやデザインを名刺に使用していただくなど、障がいのある人の表現が社会に広がる取り組みを行いました。その他定期的にデザイン会議を開催し、表現が生まれる現場とデザイナーとが協働で製品開発をし、販路開拓に力を入れてきました。

令和5年度広島県文化芸術活動支援事業を受託し、広島県アートサポートセンターを運営しました。セミナーやワークショップ等を通して様々な表現活動のあり方を学び、体験する機会をつくり、アートサポーターの人材育成や表現活動を支援する環境の高まりをサポートしました。加えて、遠隔ロボットを使つての鑑賞や、障がいのある人を対象とした「おしゃべり鑑賞会」の実施など、大学や関係機関と連携しながら、誰もが様々な表現活動やその鑑賞に参加できるよう取り組みを進めました。また、障がいのある人にもアートに関する情報が届くことを目的とした「ひゅるりんぱ」、多くの方に障がいのある方の表現を知っていただくことを目的にした「アーティストに会いにいったみた」の動画を作成し、定期的にYouTubeチャンネルの公開を行いました。



| | | |
|------|--|---------------------------------------|
| 事業名 | 広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2023 ＝まちづくりに関わる事業 | 事業費 1,902,145 円 (総事業費 3,262,674 円) |
| 事業目的 | <p>○ 自由で多様なアート、さまざまな表現のあり方、新しい可能性を広げます。</p> <p>○ アーティストと社会がつながる社会参画の場とします。</p> <p>○ 現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げます。</p> <p>○ アーティスト、サポーターの表現活動の広がり、高まりを支援します。</p> | |
| 参加者 | <p>会場展来場者数 1,210名</p> <p>プログラム企画・サポーター実働員数 60名</p> | |
| 実施内容 | <p>1. 広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2023 障がいのある方と支援する方を対象とした、公募作品展の開催 展示作業及び賞審査：2023年9月20日(水)-9月22日(金) 展示期間：2023年9月23日(土)-10月1日(日) 総応募539点 入選作品200点(自由制作部門185点、共同制作部門15点)の作品展示、作品解説 特別展示「コミュニティほっとスペースぽんぽんの日々」 ぽんぽんによるライブアート</p> <p>2. 公募要項の配布・発送 公募期間：2023年2月20日(月)～5月31日(水) 配布部数：5000部</p> <p>3. 協賛企業様へアートルネッサンス2023の説明と協賛のお願い</p> <p>4. 審査員との企画会議 ①2023年6月24日(土) 19時～20時半 場所実施：広島市役所 ひと・まちプラザ会議室、zoomによるオンライン会議併用 参加者：8人 ②2023年9月7日(土) 18時～19時半 参加者：7人 場所実施：zoomによるオンライン会議</p> <p>5. 入選作品の記録 2023年8月7日(月) 9時～17時 参加者：12人 実施場所：佐東公民館</p> <p>6. 開催に関わる広報 2023年8月25日～10月1日 ホームページ(ひゅーるぽん・広島市)、SNS、 チラシ、ダイレクトメール(約820箇所)、報道機関など</p> <p>7. 反省会 2023年10月28日(土)</p> | |

| | | | |
|------|--|-----|-----------|
| 事業名 | 幸せProducts. =まちづくりに関わる事業 | 事業費 | 509,848 円 |
| 事業目的 | ○社会の中で障がいのある人のアートの普及 ○障がいのある人の社会参画を促進 ○アートをまちづくりに活かす新しい取り組み・製品の開発 | | |
| 実施場所 | ダイハツ広島販売株式会社 各店舗（広島県内）、幸せProducts.事務局内 | | |
| 実施内容 | (1)アートレンタルの窓口 ダイハツ広島販売株式会社直営20店舗(本社含め)へのアートレンタルの窓口となり、協力団体・事業所・個人の方々と連携し、中心になって事業を進めていきました。 (2)デザインプロジェクト アーティストとデザイナーが協働して製品開発をし、販路開拓・販売を行いました。（ぼんぼん作品展での販売、sakkazakkaでの販売、GOODJOBセンターでの取り扱いの開始、Peace fontを使った名刺デザインの普及など） | | |



| | | | |
|------|---|-----|---------------------------------|
| 事業名 | 令和5年度広島県文化芸術活動支援事業「広島県アートサポートセンター」=まちづくりに関わる事業 | 事業費 | 7,955,800円 (総事業費 8,055,000円) |
| 事業目的 | ○支援者、関係者の表現活動に関する支援スキルがアップし、障がいのある人が表現活動に参加できる機会を増やします。 ○支援者、関係者のネットワーク機関を広げよりサポート体制を強化します。 ○広島県内で、多様な表現の裾野の拡大を目指します。 | | |
| 実施日時 | 2023年4月1日～2024年3月31日 | | |
| 実施場所 | 認定NPO法人ひゅーるぼん、東広島芸術文化ホールくらら、ウッドワンさくらびあ、広島市東区民文化センター、合人社ウェンディひと・まちプラザ、JMSアステールプラザ、広島マリーナホップ、大日学園、就労継続支援かなで、広島県立美術館など | | |
| 参加者 | 231 名 | | |

| | |
|------|---|
| 実施内容 | <p>(1) 広島県アートサポートセンターの運営 広島県「令和5年度障害者文化芸術活動事業」を受託し実施。アドバイザー(相談員)2名(内1名は兼務)とデザイナー1名(兼務:12ヶ月間)を配置。</p> <p>(2) 普及啓発・情報発信事業の実施 関係団体やイベント・セミナーにてパンフレットを配布。ホームページ、Facebook、Instagramなどでアートに関する情報を発信。また、障がいのある方を対象にした「ひゆるりんぱ」や多くの人を対象にした「アーティストに会いに行ってみた」のYouTube番組を立ち上げ、アートに関する情報や表現者の発掘を行った。 年間発信数:ホームページ 185件、Facebook 218件、Instagram 48件 合計451件 アクセス数:ホームページ 45,790件、Facebook 9,414件、Instagram 1,476件、合計 56,680件 YouTube番組「ひゆるりんぱ」視聴数 1,438件</p> <p>(3) 人材育成事業の実施 ア. アートセミナー&座談会+ワークショップ ①もしも「新しい表現活動をしたい」「絵を描きたくない」と言われたら 実施日時:2023年8月5日(土) 13:00~16:00 場所:東広島芸術文化ホールくらら 工作室 講師:取り組み発表 太田川学園 羽鳥 智裕 氏 権利保護についてのアドバイス 弁護士 三浦 友美 氏 ②もしも「絵が欲しいよ(買いたいよ)」と言われたら 実施日時:2023年9月5日(火)13:00~16:00 場所:ウッドワンさくらぴあ 会議室 講師:取り組み発表:アートスペースからふる 理事長 妹尾 恵依子 氏 権利保護についてのアドバイス 弁護士 三浦 友美 氏 ③もしも「書道がしたいよ」「きれいな字が書きたいよ」と言われたら 実施日時:2023年11月11日(土) 13:00~17:00 場所:広島市東区民文化センター 美術工芸室 講師:広島大学 大学院人間社会科学研究科・教授 教育学部 副学部長 松本 仁志 氏 ④もしも「アートって何?」って言われたら、そして思ったら 実施日時:2023年12月1日(金) 13:00~16:00 場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室C 講師:ぬかつくるとこ 代表 中野 厚志 氏 イ.「アートの巣箱」公募事業 ART COMPLEX HIROSHIMA に助成金を交付 ウ. 表現を楽しもうプロジェクト ~アーティストに会いに行ってみた~ 出演アーティスト:藤井将吾さん、大瀧晴義さん、上村福銖さん、清水愛理さん。動画はYouTubeで「広島県アートサポートセンター」を検索していただけますと番組を見ることができます。</p> |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 実施内容 | <p>エ. 人形劇「一寸法師」とお楽しみ交流会 実施日時：2024年3月9日(土) 開場 13:30 開演 14:00 場 所：広島マリーナホップ 内 容：デフ・パペットシアター・ひとみによる人形劇「一寸法師」とお楽しみ交流会</p> <p>(4) 創作活動支援事業の実施</p> <p>ア. 体験ワークショップ 「書道を楽しもう」 実施日時：2023年11月11日(土) 13:00~17:00 場 所：広島市東区民文化センター 美術工芸室 講 師：広島大学 大学院人間社会科学研究科・教授 教育学部 副学部長 松本 仁志 氏</p> <p>イ. 専門家派遣 (単発型)</p> <p>① 派遣先：きまぐれの会 訪問日：2023年6月10日(土) 場 所：黒瀬町 内 容：「書」に取り組むワークショップ</p> <p>② 派遣先：大日学園 訪問日：2024年3月9日(土) 場 所：大日学園 内 容：職員を対象にした、展示についての研修会</p> <p>(継続型) 派遣先：就労継続支援 かなで 訪問日：2023年11月10日、24日、12月8日、22日、2024年1月26日、2月16日、3月8日、22日 場 所：就労継続支援 かなで 内 容：創作（染め、編み物、立体作品、スタンプング）の体験</p> <p>(5) その他障害者文化活動の振興に資する事業</p> <p>ア. 一体型プロジェクト（鑑賞支援）</p> <p>①遠隔ロボットを使った鑑賞サポート 実施日：2023年9月23日、9月30日 場 所：合人社ウエンディひと・まちプラザ 内 容：アーティスト対象。アート・ルネッサンス会場にて、遠隔ロボットを使って鑑賞とイベント参加のサポート。</p> <p>②お楽しみ鑑賞会の実施 実施日：2024年2月24日 場 所：広島県立美術館 内 容：広島県、広島大学、広島県立美術館、広島県アートサポートセンター協働で行う、知的な障がいのある方を対象にした対話型鑑賞会</p> |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 実施内容 | <p>イ. 画材支援プログラム 内容：画材寄付を募り、事業や画材を必要とする福祉施設に配布する。 寄付件数：8件</p> |
| | <p>ウ. ネットワークの構築 のらのらの会…福祉施設・事業所のスタッフ、アーティスト、美術館学芸員、企業など、様々な立場が集まった会。鑑賞会、作品展示、展覧会、交流会を通して、ネットワークの拡大と関係づくりを行った。</p> |
| | <p>(6) 相談への対応 ・電話、メール、ショートメール、ホームページ、訪問、自主イベントを通して相談を受付、対応。 新規相談数：83件、継続対応数：401件 ・あいサポートアート展の会場にてアート相談窓口を実施 実施日：2023年10月31日、12月2日</p> |
| | <p>その他、協力依頼の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おきらく劇場ピロシマ 協力内容：演劇クラブ、演劇公演での福祉的視点のアドバイスと実施、広報サポート ・HPAR2023 協力内容：事務作業、広報、運営、実施サポート ・あいサポートアート展 協力内容：広報、実施サポート ・各種イベント広報周知の協力 |



| | | |
|------|--|----------------|
| 事業名 | アートサポートセンターひゅるる（自主事業） ＝まちづくりに関わる事業 | 事業費 10,631円 |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ○アートによるまちづくり事業と協働し、社会への普及啓発を行います。 ○ 障がい者アートの普及・発展に向けた取り組みを行います。 ○ 障がい者アートを取り巻く社会情勢を踏まえ、新しい視点を提案します。 | |
| 実施日時 | 通年 | |
| 実施場所 | 認定NPO法人ひゅーるぽん | |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 広島県アートサポートセンターでは対応が難しい、アート活動に関する、相談や協働の窓口を行いました。 (2) 「のらのらの会」の実施サポート、「知的障害者福祉協会のアート部会」への参加、ひろしま文化振興財団の研修での事例報告などを行いました。 (3) アートスペース事業のサポートを行いました。 (4) 障害のある人とともに創る演劇事業の協働・サポートを行いました。 | |

| | | |
|------|--|-----------------|
| 事業名 | アートスペース ＝まちづくりに関わる事業 | 事業費 259,968円 |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供していきます。 ○ 地域へ開かれたアート教室を開催し、制作環境を高めていきます。 ○ アーティストの発掘とアートの社会化を目指していきます。 | |
| 実施日時 | 通年（絵画）毎週火曜日（陶芸）第2・第4金曜日 | |
| 実施場所 | 認定NPO法人ひゅーるぽん ほっとスペースぽんぽん | |
| 参加者 | 絵画－登録2名、陶芸－登録 6名 | |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> (1) アートスペース絵画の開催。週1回。アーティストが刺激しあい、のびのびと作品づくりを行える制作環境の場を提供しました。 (2) アートスペース陶芸の開催。月2回。外部より専門の講師を招き、自由な発想で個性的な作品づくりを行いました。 (3) アート・ルネッサンス、あいサポートアート展、BiG-i×Bunkamuraの応募、作品の展示機会の提供等、作品を通じた社会参画を行いました。 | |



3-2 地域・社会啓発つながりづくりプログラム

今年度は、コロナ感染症の5類への移行に伴い、これまで縮小、中止を余儀なくされてきた「地域食堂”みんなおいでや”」「夏祭り」「夕暮れコンサート」などの行事を予定通り開催することができました。地域の方や日頃からお世話になっている方など多くの方々に足を運んでいただき、楽しく交流できる場になったように思います。

また、ひゅーるぽんの保護者の方に、ほとんどの行事の事前の準備や当日の運営等にご協力いただきました。これまでのスタッフだけで行うというスタイルから、ひゅーるぽんを応援してくださる皆さんと一緒に作り上げていくスタイルへの道筋が見えてきたように感じています。今後も、保護者の方、そして地域の方とのつながりを大切にしながら、そのつながりの輪をもっと広げていけるように取り組んでいきたいと思ひます。

| | | | |
|------|---|-----|----------|
| 事業名 | 地域協力プログラム =まちづくりに関わる事業 | 事業費 | 10,359 円 |
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人がつながる場をつくること、そしてそのつながりを広げ深めます。 ○ 「日常的なつながり」「共に生きていく」地域づくりをめざします。 | | |
| 実施日時 | 2023年 11月5日（日）佐東公民館まつり 11月11日（土）安佐南区民まつり | | |
| 参加者 | 地域の人（100人以上）、通所時・者、スタッフ（20人） など | | |
| 実施内容 | <p>コロナ禍が開けて、久しぶりに地域の人と交流の機会が持てました。焼き肉まんや綿菓子などの販売等、数年振りの開催となったことで大盛況となり、地域住民との交流の機会を深めることができました。また、きつづぐみ通所のこどもたちだけでなく以前きつづぐみに通所していた人たちが「先輩」としてボランティア参加してくれたことで、新しくできたつながりもありました。祭り参加者はそれぞれ役割を再認識し、チームで協力して最後までやり遂げることができました。</p> | | |



| | | |
|------|--|------------------|
| 事業名 | 地域交流プログラム =まちづくりに関わる事業 | 事業費 327,389 円 |
| 事業目的 | 啓発活動とあわせて、地域住民やボランティアとつながりをつくったり、深めたりしていきながら、「ともに生きていく」地域づくりを目指します。 | |
| 実施場所 | NPO法人ひゅーるぽん | |
| 参加者 | 地域の人、協働する団体、通所児・者、スタッフ、保護者など | |
| 実施内容 | <p>1.地域食堂「みんなおいでや」 実施日： 2023年5月20(土)、6月17日(土)、7月15(土)、8月19(土)、9月16日(土) 10月28日(土)、11月18日(土)、12月23日(土) 2024年1月20日(土)、2月17日(土)、3月16日(土) 11時30分～14時 全 11回 参加者：毎回約70～80人 内 容：地域の方の会食の場を設け、子どもからお年寄りまで幅広い人に来ていただきました。</p> <p>2.ひゅーるぽん夏まつり 実施日：2023年8月25日（金）17時30分～20時 参加者：約100人 内 容：3年ぶりに縮小をすることなく、フライドポテトやかき氷、焼きそばなどの販売コーナー、魚釣りなどの子どもの遊びコーナー、ステージなどを実施しました。</p> <p>3.秋の夕暮れコンサート 実施日：2023年11月17日（金）17時～18時30分 参加者：約200人 内 容：沖田孝さん、千春さんご夫妻によるヴィオラ・ピアノ演奏、文化学園大学音楽学科学学生の皆さんの演奏、ひゅーるぽん保護者・スタッフの合唱など。</p> <p>4.焼きいも会 実施日：2023年11月18日（土）11時～14時 参加者：約100人 内 容：佐東公民館の登録グループ「おやじの料理」さんの協力で地域食堂「みんなおいでや」と並行して実施しました。</p> <p>5.もちつき大会 実施日：2023年12月23日（土）10時30分～14時 参加者：約100人 内 容：地域食堂「みんなおいでや」と並行して実施しました。</p> | |

3-3 ボランティア育成プログラム

コロナ感染症が5類に移行し、感染対策としての事前の検査や急な受け入れ中止がなくなり、これまで制限されていた行事も復活しました。学生はもちろん、保護者やOB・OGなどたくさんの方がボランティア活動に参加してくださいました。

また、学生向けの「夏のボランティアプログラム」を実施し、はじめてボランティア活動をするきっかけづくりとなった一方で、継続した活動につながる参加者は少ない状況です。居心地の良い環境づくりや学び合い育ち合う場になる等、活動に参加するだけではないプラスαの魅力を生み出せるように考えていきたいと思えます。

| | | | |
|------|---|-----|----------|
| 事業名 | ボランティアセンタープログラム ＝ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言にかかわる事業 | 事業費 | 59,600 円 |
| 事業目的 | ○ボランティアに関心のある人々を巻き込んでいながら、学び・学び合いの場を提供していきます。 ○私たちが展開する様々なプログラムに参加することを通じて、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場をつくります。 | | |
| 実施日時 | 通年 | | |
| 実施場所 | ひゅーるぽん | | |
| 参加者 | のべ 154名（中学生・高校生 12名、大学生 33名、その他 109名）屋根P、餅つき、おいでやの保護者ボランティア） | | |
| 実施内容 | (1) 日常的な活動や、行事等へのボランティアの受け入れ (2) 地域の高校・大学へ向けた広報活動や、ボランティア応募フォームの整備 (3) 地域の高校・大学生向けの「夏のボランティア体験プログラム」の実施 (4) 定期的なメール配信による活動情報や行事の案内 | | |

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 事業名 | 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議プログラム ＝緊急・災害時の支援に関わる事業 | 事業費 | 0 円 |
| 事業目的 | 「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害に備え、災害時にはその対応にあたります。 | | |
| 事業内容 | ○ 定例会議への参加（1/25） | | |

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 事業名 | 外部への講師・委員派遣・協力事業 ＝ボランティア及びボランティア団体の参加・育成 支援、その他の助言に関わる事業 | 事業費 | 0 円 |
| 事業目的 | 様々な人が共に生きやすい社会を実現していくために、地域の団体や機関との協働を進めます。 | | |
| 実施内容 | (1)講師等 8/25 井口地区民生委員児童委員協議会 講演 11/30 安佐南区民生委員児童委員協議会 講演 1/22 広島県小児保健研究会 講演 比治山大学 非常勤講師 広島文化学園大学 非常勤講師 (2)委員 広島県生涯学習審議会委員 広島市社会福祉審議会全体会委員 広島市社会福祉審議会子ども・子育て専門部会委員 広島市社会福祉審議会高齢福祉専門部会委員 広島市地域福祉活動推進基金助成事業審査委員 広島市社会福祉協議会理事 広島市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長 広島市社会福祉協議会基金管理運営委員会委員長 広島市社会福祉協議会地域福祉総合企画委員会委員 広島市社会福祉協議会第9次5カ年計画策定委員・作業委員 3.11東日本大震災を忘れない追悼のつどい広島実行委員会委員 子どもの安心安全ネットワーク会議委員 広島県あいサポートアート展審査員 など | | |

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 事業名 | 職場体験・実習生等の受け入れ＝その他、本法人の 目的を達成するために必要な事業 | 事業費 | 0 円 |
| 事業目的 | 教育現場と連携し、職場体験・実習受け入れを行い、学生に学びの場を提供します。 | | |
| 実施内容 | (1) 職場体験等 城山北中学校 2名 (6/29) 城南中学校 2名 (7/6) 安佐中学校 2名 (7/11) 広島北特別支援学校 1名 (1/30～2/2) 県立広島商業高校 2名 (2/5～2/6) (2) 実 習 美作大学 保育士実習 1名 (6/19～7/3) 広島文教大学 社会福祉士実習 1名 (8/8～9/12、9/25～9/26) 県立広島大学 社会福祉士実習 1名 (8/8～9/12) 広島文教大学 保育士実習 1名 (9/7～9/21) 安田女子大学 心理学部実習 4名 (11/28、12/5、12/9、12/12、12/19) | | |

令和5年度 活動実績

1.年間活動時間

【内訳】

| | | | |
|------------------|-----|-------|------------|
| ①運営に関わるプログラム | 会議日 | 103時間 | (昨年度156時間) |
| ②コミュニティスペースプログラム | 年間 | 241日 | |
| ③まちづくりプログラム | | 490時間 | (昨年度270時間) |
| ④ボランティア育成プログラム | | 5時間 | (昨年度10時間) |

2.ボランティア年間活動参加のべ人数

44名 (昨年度52名)

| | | |
|--------|-----|-----------|
| ■センター | 39名 | (昨年度 36名) |
| ■ぽんぽん | 1名 | (昨年度 11名) |
| ■まちづくり | 5名 | (昨年度 5名) |

3.会員登録数

120名 (昨年度136名)

| | | |
|-------|-----|-----------|
| ■正会員 | 30名 | (昨年度28名) |
| ■賛助会員 | 98名 | (昨年度108名) |